

国語の傾向と対策

1 はじめに

埼玉県公立高校入試は、記述問題が多く出題されること、課題作文が出題されることが大きな特徴です。これらは配点も高く、差が付く分野です。本日は小説の記述問題と課題作文について勉強していきます。

2 「小説記述問題の考え方」……四つのポイントが重要になります。

ポイント1

問をよく読もう！

「問をよく読もう！」とは、いったいどういうことなのか。それは、「何が問われている、何をどのように答える」のか、ということを読みとるということです。埼玉の入試は、空欄の穴埋め形式になっている場合が非常に多いので、空欄の前後の内容にも着目しましょう。

ポイント2

問われているところに線を引く

「何が問われている、何をどのように答える」のかが分かったら、問われているところに線を引きましょう。そのことにより、確実に問われていることに答えることができます。

ポイント3

解答する箇所を探し、解答を作成する

「線を引いたところ」を手がかりにして、解答する箇所を探し、解答を作成しましょう。

字数を調整する

- ・「指定字数より字数が多い場合」 ……言葉を削る。別の言葉で言い換える形で字数を調整します。
 - ・「指定字数より字数が足りない場合」 ……言葉を付け足す。別の言葉で言い換える形で字数を調整します。
- 以上四つのポイントを踏まえて、くり返し過去問題集を解いて練習をしましょう。

3 「課題作文の考え方」 ……二つのポイントが重要になります。

問をよく読もう！

最初のポイントは当たり前前のようですが、「問い」をしっかり読もうということです。小説の記述問題と同様に、「何が問われている、何をどのように答える」のかを読みとりましょう。問われていないことを書いてしまうと減点の対象になってしまいます！何を書けばいいのかをしっかりと読み取ってから作文を書き始めましょう！

埼玉県の作文は、例年以下の内容を書くことになっています。

1 資料をふまえた自分の「考え」 2 「体験」

原稿用紙の使い方・表現

次のポイントは「原稿用紙の使い方」「表現上の誤り」を覚えることです。

《原稿用紙の使い方》く覚えておきたい基本的な決まりく

- ①段落の始めは一字下げで書きます。
- ②「ゃ」「ゆ」「よ」「っ」「。」「。」「」（かぎかっこ）はそれぞれ一文字として、一つのマス目に書きます。

③「。」、「、」、「」（とじるかぎかつこ）が行の始めに来る時は、前の行末に書きます。
④会話文ではなく、強調したい語句に「」（かぎかつこ）を付けるときは、とじるかぎかつこに句点を付けません。

⑤「や」「ゆ」「よ」「つ」は行頭にきても構いません。

⑥数字は漢数字で書きます。

⑦記号としてのアルファベットは、一マスに一文字書きます。

《表現で注意したいこと》《覚えておきたい基本的なこと》

①主語と述語の関係に注意します。

×↓ぼくのよいところは、性格が明るい。

②修飾語の関係に注意します。

×↓みんなが一生懸命に走る私を応援してくれた。

③呼応の副詞（陳述の副詞・叙述の副詞）を正しく使います。

×↓彼はたぶん遅れてやってくるにちがいない。

④正しい仮名遣いで書きます。

×↓読みづらい字を書く。

⑤文体や時制に注意します。

×↓先日、海に行きました。みんなで三時間も泳いだ。

祈 第 一 志 望 校 合 格 ！ 頑 張 れ 、 受 験 生 ！